

2 宇部市の人口にはどのような特色があるだろうか

(1) 人口の分布

令和2年度山口県勢要覧によると、2018（平成30）年10月1日現在の本県の人口は1,368,495人で、平成22年国勢調査の人口に比べ、82,843人（5.7%）の減少となっています。宇部市の人口は約16.5万人で、下関市（約25.9万人）、山口市（約19.5万人）に次ぎ、県内で3番目となっています。

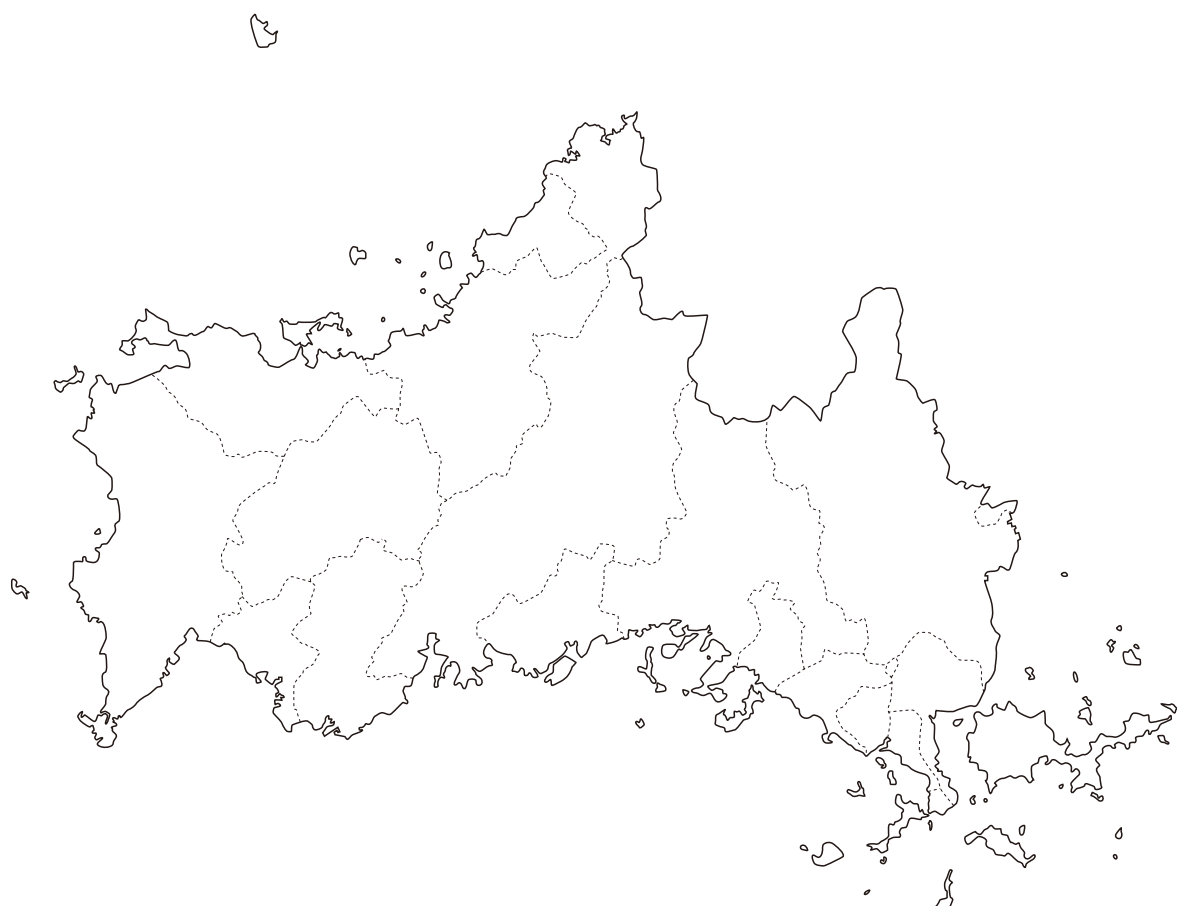
◎県全体および各市の人口（単位：人）

	令和2年度	平成22年		令和2年度	平成22年
山口県	1,368,495	1,451,338	山陽小野田市	61,434	64,550
下関市	259,855	280,947	下松市	56,550	55,012
山口市	195,600	196,628	光市	50,143	53,004
宇部市	165,522	173,772	萩市	46,606	53,747
周南市	141,225	149,487	長門市	33,570	38,349
岩国市	132,172	143,857	柳井市	31,598	34,730
防府市	114,601	116,611	美祢市	24,619	28,630

「山口県勢要覧」及び「国勢調査結果」をもとに作成

【やってみよう】

- 人口が10万人以上の市に色をつけてみましょう。
- 気がついたことなどを意見交換してみましょう。



◎校区別人口（単位：人）

東岐波	12,416
西岐波	13,156
恩 田	12,499
上宇部	13,648
岬	3,857
見 初	3,312
琴 芝	9,842
神 原	5,526

新 川	7,658
鵜ノ島	3,932
藤 山	10,860
厚 南	10,469
原	7,343
厚 東	1,692
二俣瀬	1,221
小 野	1,174

常 盤	8,172
小羽山	6,495
西宇部	7,294
川 上	7,780
黒 石	9,649
吉 部	744
万 倉	1,236
船 木	3,496

「宇部市ホームページ」から 令和2年4月現在

【やってみよう】

- 校区の人口を地図上で色分けし、人口の集中地区を確認しましょう。

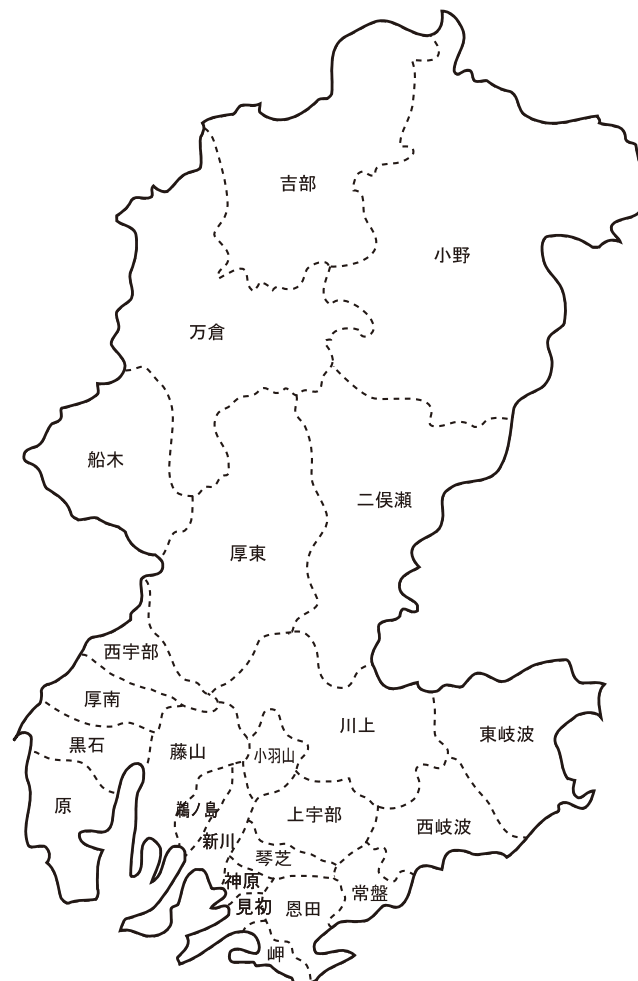
青 10,000人以上

緑 5,000～10,000人未満

黄 2,000～5,000人未満

白 2,000人未満

- 気がついたことなどを意見交換してみましょう。



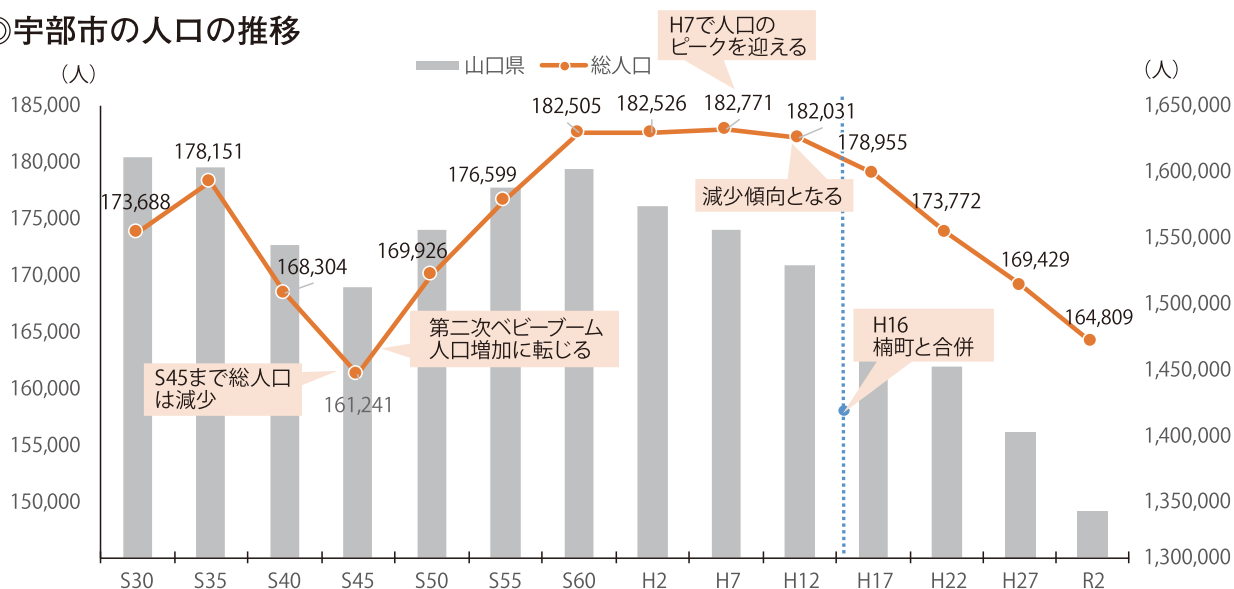
(2) 人口の推移

宇部市の人口は、高度経済成長期である1960（昭和35）年から1970（昭和45）年にかけて減少しましたが、その後、第二次ベビーブームなどにより、人口は増加し、1995（平成7）年にピークを迎えました。

下のグラフからも分かるとおり、1985（昭和60）年から2000（平成12）年頃までは、18万2千人ほどで横ばいが続いていましたが、その後はゆるやかに減少しています。今後も減少傾向が続いた場合、2060（令和42）年には10万人を切るものと予測されています。

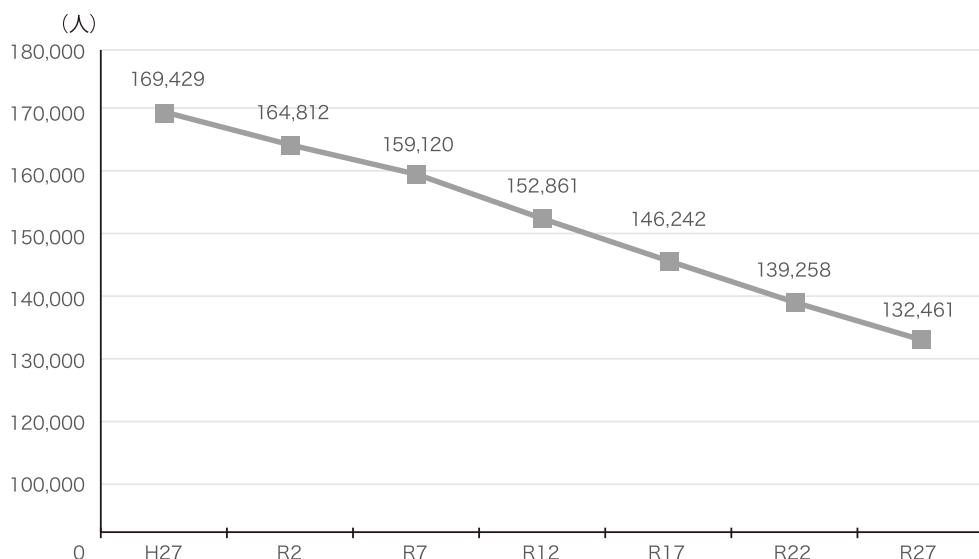
このような人口減少が進むことで、どのような影響があるか考えてみましょう。例えば、生活用品等を取り扱うスーパーマーケットやガソリンスタンドが撤退することや、鉄道やバスといった生活路線の確保が難しくなること、また、小中学校の学校数や学級数にも影響が出てくることが予想されます。

◎宇部市の人口の推移



「宇部市人口ビジョン」から

◎将来人口推計



「国立社会保障・人口問題研究所準拠推計」から

◎校区別人口の変化（単位：人）

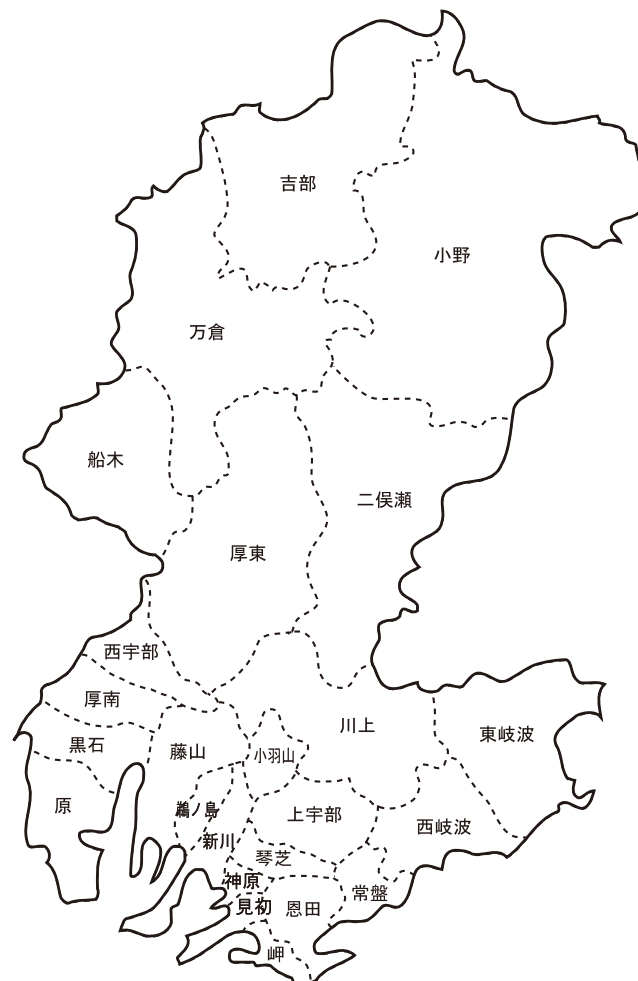
校 区	人口（人）		人口増減 △増▼減	人 口 増減数
	H23年	令和2年		
東岐波	13,599	12,416	▼	-1,183
西岐波	13,978	13,156	▼	-822
恩 田	12,976	12,499	▼	-477
上宇部	14,881	13,648	▼	-1,233
岬	4,524	3,857	▼	-667
見 初	3,750	3,312	▼	-438
琴 芝	10,547	9,842	▼	-705
神 原	6,024	5,526	▼	-498
新 川	7,605	7,658	△	53
鵜ノ島	4,626	3,932	▼	-694
藤 山	11,671	10,860	▼	-811
厚 南	10,642	10,469	▼	-173

校 区	人口（人）		人口増減 △増▼減	人 口 増減数
	H23年	令和2年		
原	7,853	7,343	▼	-510
厚 東	1,973	1,692	▼	-281
二俣瀬	1,490	1,221	▼	-269
小 野	1,561	1,174	▼	-387
常 盤	8,535	8,172	▼	-363
小羽山	7,536	6,495	▼	-1,041
西宇部	8,106	7,294	▼	-812
川 上	8,134	7,780	▼	-354
黒 石	8,133	9,649	△	1,516
吉 部	894	744	▼	-150
万 倉	1,561	1,236	▼	-325
船 木	4,115	3,496	▼	-619

「宇部市ホームページ」から 令和2年4月現在

【やってみよう】

- 人口が増えている校区に色をつけてみましょう。
- 人口増減数の大きさに注目して、その理由などを考えてみましょう。



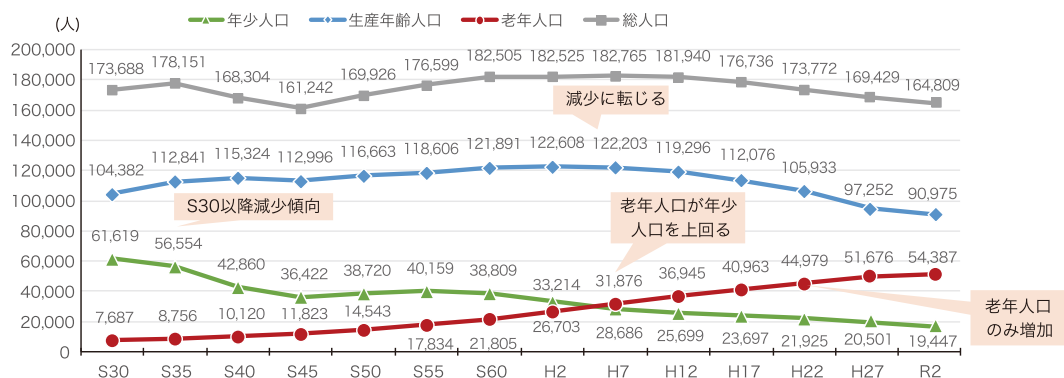
(3) 年少人口と生産年齢人口の状況

それでは、現在の宇部市の人口について、年齢に注目して見てみましょう。

下のグラフは、宇部市の人口を3つの年齢層に分けて、推移を表しています。年少人口は0歳から14歳まで、生産年齢人口は15歳から64歳、老年人口は65歳以上を示しています。

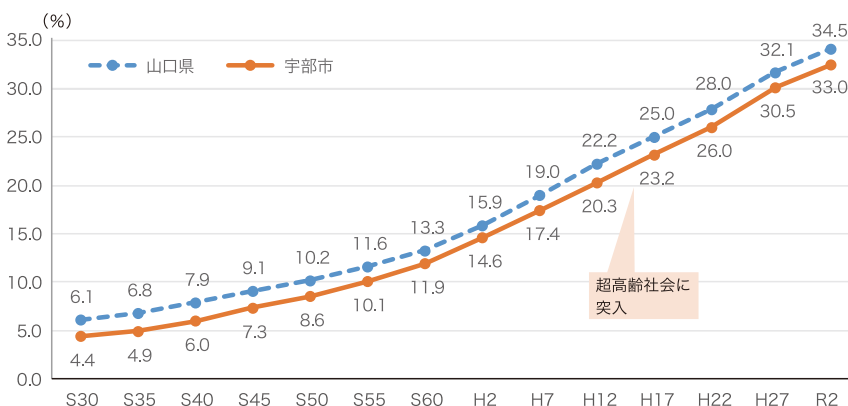
年少人口は、1955（昭和30）年に約6万1,600人だったのが、2010（平成22）年には、約2万2,000人と、3分の1近くに減少しています。一方で、老年人口は、1955（昭和30）年に約7,700人だったのが、2010（平成22）年には、約4万5,200人と、6倍近くに増加していることがわかります。また、生産年齢人口は、1990（平成2）年以降に減少傾向であり、これに伴い、労働力人口の減少が見られます。

◎年齢3区分人口の推移



「宇部市人口ビジョン」から

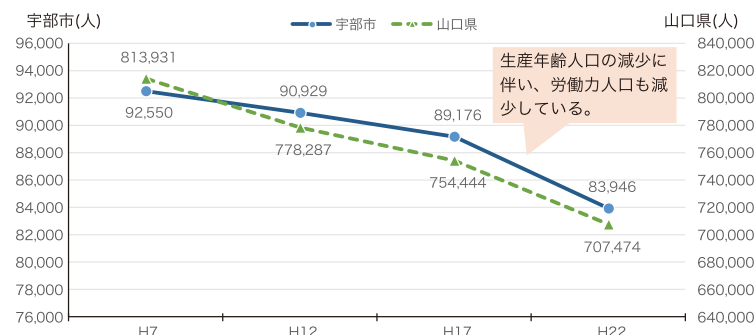
◎高齢化率の推移



※高齢化率＝老年人口÷総人口（年齢不詳数を除く）×100 総務省「国勢調査」

「宇部市人口ビジョン」から

◎労働力人口の推移



※労働力人口：15歳以上の働く意欲のある人 総務省「国勢調査」

「宇部市人口ビジョン」から

◎校區別65歳以上人口比率（単位：％）

東岐波	33.4
西岐波	37.2
恩 田	32.6
上宇部	31.0
岬	37.5
見 初	41.8
琴 芝	33.6
神 原	34.8

新 川	27.4
鵜ノ島	36.5
藤 山	30.5
厚 南	31.9
原	34.0
厚 東	45.6
二俣瀬	50.9
小 野	55.2

常 盤	32.6
小羽山	35.8
西宇部	36.1
川 上	27.8
黒 石	22.1
吉 部	50.5
万 倉	46.4
船 木	36.0

「宇部市ホームページ」から 令和2年4月現在

【やってみよう】

- 老年人口（65歳以上の人口）が30%以上の校区に色をつけてみましょう。
- 気がついたことなどを意見交換してみましょう。

